

企画環境委員会会議記録（第3号）

令和7年10月 1日

福島県議会

1 日時

令和7年10月 1日（水曜）

午後 3時38分 開議

午後 3時44分 閉会

2 場所

企画環境委員会室

3 会議に付した事件

別添「議案付託表」（第1号に添付）のとおり

4 出席委員

委員長 山口 信 雄

副委員長 山 内 長

委員 長 尾 トモ子

委員 今 井 久 敏

委員 高 野 光 二

委員 佐 藤 雅 裕

委員 大 場 秀 樹

委員 佐々木 彰

委員 大 橋 沙 織

委員 山 田 真太郎

5 議事の経過概要

（午後 3時38分 開議）

山口信雄委員長

ただいま出席委員が定足数に達しているので、これより企画環境委員会を開く。

これより本委員会に付託された知事提出議案2件を一括議題とする。

既に付託議案に対する質疑は終結しているので、これより議案の採決に入って異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

山口信雄委員長

異議ないと認め、議案の採決を行う。

初めに、知事提出議案第1号のうち本委員会所管分外1件を一括採決する。

お諮りする。

知事提出議案第1号のうち本委員会所管分及び同第8号、以上2件は、一括原案のとおり可決すべきものと決定して異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

異議ないと認める。よって、知事提出議案第1号のうち本委員会所管分外1件は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

次に、本委員会に付託された議員提出議案1件を議題とする。

議員提出議案第105号については、先日の委員会で可決、継続と意見が分かれたので、まず継続審査について諮る。

議員提出議案第105号は、継続審査すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

山口信雄委員長

起立少数。よって、議員提出議案第105号は採決することとする。

(日本共産党 退席)

山口信雄委員長

お諮りする。

議員提出議案第105号は、原案のとおり可決すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

山口信雄委員長

起立総員。よって、議員提出議案第105号は原案のとおり可決すべきものと決定した。

(日本共産党 着席)

山口信雄委員長

次に、議会閉会中の継続調査事件について諮る。

- ・地域振興対策について
- ・エネルギー対策について

- ・避難者支援について
- ・環境回復・保全対策について
- ・原子力損害賠償について
- ・県民生活の安定向上について
- ・文化スポーツ振興対策について

以上の7件については、なお慎重に調査する必要があると認められるので、閉会中もなお継続調査することとし、この旨議長に申し出ることとして異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、委員長報告の作成は私に一任願う。

以上で全部の議事を終了した。

閉会に当たり一言挨拶を述べる。令和5年12月から約2年間、本委員会の委員長を務めたが、山内副委員長をはじめ各委員や執行部には円滑な委員会運営に協力してもらい深く感謝する。この間、本委員会では、本県の復興・創生に向けて、福島イノベーション・コースト構想の推進、再生可能エネルギーの普及拡大、避難者支援、県土の環境回復など、本県復興の主要課題について審議してきた。今年度は第2期復興・創生期間の最終年度であり、来年度からは新たに第3期復興・創生期間が開始するが、震災・原発事故からの復興や人口減少問題など、乗り越えなければならない課題が山積している。今後とも本県復興のさらなる推進に向けて、「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」の言葉どおり様々な課題を乗り越え、県民の思いをかなえるために一致協力した取組を期待するとともに、それぞれの立場で尽力願う。皆が壮健にて今後とも活躍するよう祈念し、任期最後の委員会閉会に当たっての挨拶とする。大変世話になった。

これをもって、9月定例会における企画環境委員会を閉会する。

(午後 3時44分 閉会)